

体験活動参加型+講演会型(保育園・幼稚園)

学校名等	垂井町立岩手保育園・幼稚園
実施日時	令和2年12月1日(火) 9:00~12:00
会場	岩手小学校周辺・岩手幼稚園遊戯室
参加人数	34名(保護者14人、園児14人、職員6人)
学習課題(分野)	親子木育教室「みどりのごちそう~ままごと遊び~」(家族の大切さ)
運営者の願い	ふるさと岩手地域の自然に触れ、自然の中での遊び方を身に付けてほしい。 木育を通して、親子のコミュニケーションを図り、親子の心と体の癒しの場を提供したい。

学習の内容

<学習内容>

○親子木育教室「みどりのごちそう~ままごと遊び~」

【講師】ぎふ木育推進員 共育工房 IPPO 福島 計一 様

ぎふ木育推進員を講師に招き、親子木育教室を開催した。教室では、岩手小学校の周辺を散策する「ミニふるさとトレッキング」を行い、親子で木の実や木の葉などを集めた。また、講師からは、自然の中での楽しい遊び方を学んだ。また、散策中に集めた木の実や木の葉などを使って、親子で「ままごと遊び」を行い、その後、ままごと遊びの発表会を開いた。

- 講師から、自然の中で楽しく遊ぶ方法を聞く(幼稚園遊戯室)



- ミニふるさとトレッキング & 自然の物集め(幼稚園舎⇄小学校周辺)



- ままごと遊び・ままごと遊び発表会(幼稚園遊戯室)



- まとめ体験の振り返り(幼稚園遊戯室)



【ミニふるさとトレッキング】



【親子でままごと遊び】

<参加者の感想>

- ・ 自然の物を使った「ままごと遊び」を通して、親子がそれぞれ作ったものを見せ合うことで、普段できない会話や、親と子のコミュニケーションを深めることができ、とても良い機会となった。
- ・ 普段見ることがない草の中を探し、様々な種類の木の実や木の葉を発見できた。今までは「汚いからやめて!」と子どもに言っていたが、心を育てるためには、目で見て触って感じる体験が必要だとわかった。また、親子一緒に参加し、体験できたことで、子どもへの愛情がより深まり、子どもの感じ方や考え方を改めて知ることができた。
- ・ 時間を忘れて自然の中で過ごす素敵な時間だった。ごく普通の自然がとても新鮮に感じた。「ままごと遊び」も童心にかえり、子どもと楽しく触れ合うことができて良かった。
- ・ 普段から家でも「ままごと遊び」はやっていたが、遊びの材料を一から探しに行くのは初めてで、自分自身が自然の少ないところで育ったため、貴重な体験ができた。今回の経験で、普段の子どもたちの遊び方が変わると思う。



親子で自然とふれあう機会の提供

◎ 親子木育教室を通して、親子が一緒に自然とふれあうことができる機会を持つことができた。それにより、お互いが幸せに感じる時間を過ごすことができ、親子のコミュニケーションを増やすことができた。



コロナ対策・屋外での活動

◎ 新型コロナウイルス感染症の影響から、体験活動参加型の家庭教育学級の活動が実施しにくい中で、感染予防対策を図りながら、親子が一緒になって屋外での木育教育活動を体験でき、親子の絆づくりにつながった。また、保護者の方に、木育教育の大切さを知っていただける良い機会となった。